

# はじめに ～ 2023 年 JNTO 国際会議統計の発行に当たって

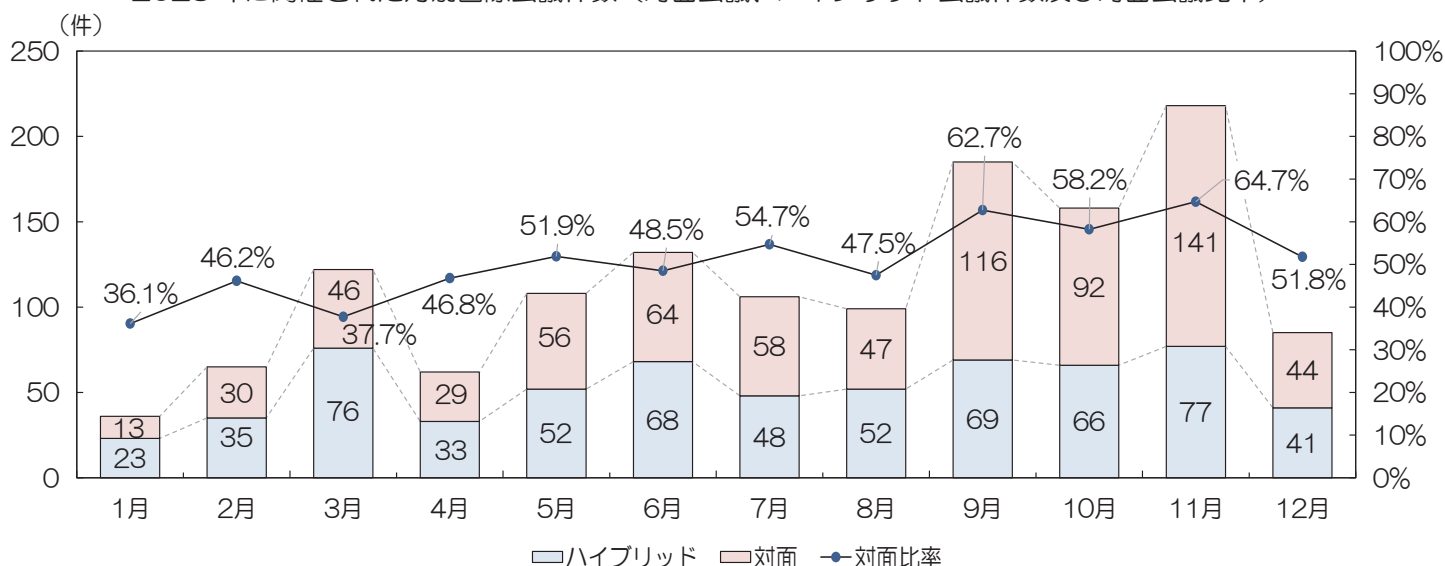
本統計集では「JNTO 国際会議統計」「ICCA（国際会議協会）統計」「UIA（国際団体連合）統計」の3つの統計を掲載しています。

「JNTO 国際会議統計」では JNTO が定義する統計基準（2 ページ参照）に基づき、全国の自治体やコンベンション・ビューロー、府省庁の協力のもと調査を行い、全国における国際会議の開催件数や会議参加のために訪日した外国人参加者数を把握し、毎年公表しています。

2020 年以降、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な拡大・長期化に伴い、国際会議の開催件数は 2020 年 222 件、2021 年 29 件と激減していましたが、2022 年は、10 月以降の個人旅行の受け入れや査証免除措置の再開等、日本側の水際措置が緩和されたことにより 553 件と増加に転じ、そして、2023 年の開催件数は 1,376 件に増加しました。また、参加者総数は前年比 3.1 倍の 1,016,813 人、外国人参加者数は前年比 3.8 倍の 129,373 人に達し、順調な回復が見られました。COVID-19 流行前との比較では、開催件数は 2019 年比 38.0%、国内参加者数は同 49.8%に留まる一方、外国人参加者数は 60.6%まで回復しました。

開催形態では、全会議件数（1,376 件）の 53.5%にあたる 736 件がオンラインを用いない対面形式で開催され、2020 年以降で初めて対面形式による会議件数がハイブリッド形式の会議件数を上回る結果となりました。月別では、新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に位置付けられた 2023 年 5 月以降、オンラインを用いない対面形式による件数が増加し、5 月～12 月では 6 月及び 8 月を除く全ての月でハイブリッド会議件数を上回り、特に 11 月では 218 件の会議のうち、対面開催会議が約 64.7%（141 件）を占めました。COVID-19 の流行を経て国際会議におけるオンライン会議ツールの活用が定着している一方で、対面開催への回帰がうかがえます。2024 年は会議開催件数のさらなる増加が見込まれるところ、JNTO では引き続き国際会議の開催状況を注視してまいります。

2023 年に開催された月別国際会議件数（対面会議、ハイブリッド会議件数及び対面会議比率）



注：国際会議が月をまたがって開催されている場合、開催日数が多い月に計上した。また、この場合、開催日が前の月と後の月で同数であれば前の月に計上した。